

蒲生干潟の地形調査⑳

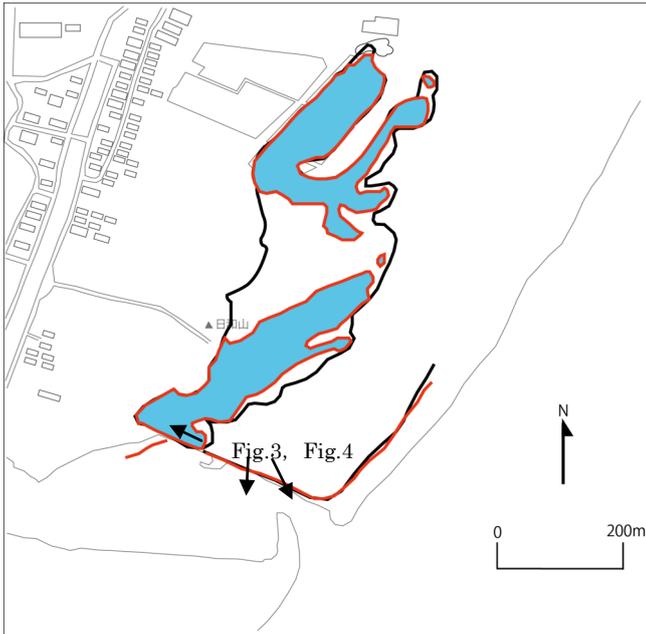


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.2 砂の堆積により閉塞した西側通水部分



Fig.3 河口付近中央にできた砂州



Fig.4 拡大した右岸側の砂州

調査日 2017年5月11日(木) 9:30~11:30 ※干潮時刻10:01(潮位13cm)

Fig.1の赤線の実線で示されたものはGPS簡易測量による5月の汀線、黒線の実線でしめされたものは4月のそれである。また図中の矢印は写真撮影の方向を表している。4月の調査で潟湖の拡大が確認されたが、今回の調査では潟湖中央部付近で分断されていることが確認された。導流堤の通水部は3箇所あるうち東側のみ通水しており潟湖から川へと水が流れ出ている。また、中央及び西側の通水部分には砂が堆積しており閉塞していた(Fig.2)。

河口付近では川の中央に砂州が形成されていた。砂州の形状は川の上流側が大きく下流側が細くなっていた(Fig.3)。河口付近では右岸側で砂州が拡大しており、河口が狭くなっていた。右岸側の砂州の拡大により、川から海への水の流れが合流している部分では渦を巻いて流れていた。

(中田 晋)